

オーチャードグラス

1 番草収量と耐病性に優れる

中生品種 「ハルジマン」

「ハルジマン」は、春の収量性に優れ北海道と東北北部の採草および放牧利用に適した中生品種です。

- 出穂始めは、「オカミドリ」並みの中生品種です。
- 1 番草収量は「オカミドリ」より多収です。
- すじ葉枯病抵抗性は、「オカミドリ」より優れます。



「ハルジマン」の出穂始め

○栽培適地

北海道全域と東北北部

「ハルジマン」の主な特徴

1. 採草利用における1番草収量は「オカミドリ」より多収です（図1）。
2. すじ葉枯病の罹病程度が「オカミドリ」より低く、抵抗性は“やや強”です（図2）。
3. マメ科牧草（アカクローバ、アルファルファ、シロクローバ）との混播で良好なマメ科率（30%前後）を維持できます。
4. 飼料成分は、「オカミドリ」並みです。
5. 採草利用を中心に放牧にも利用できます。
6. 栽培適地は、北海道全域と東北北部です。

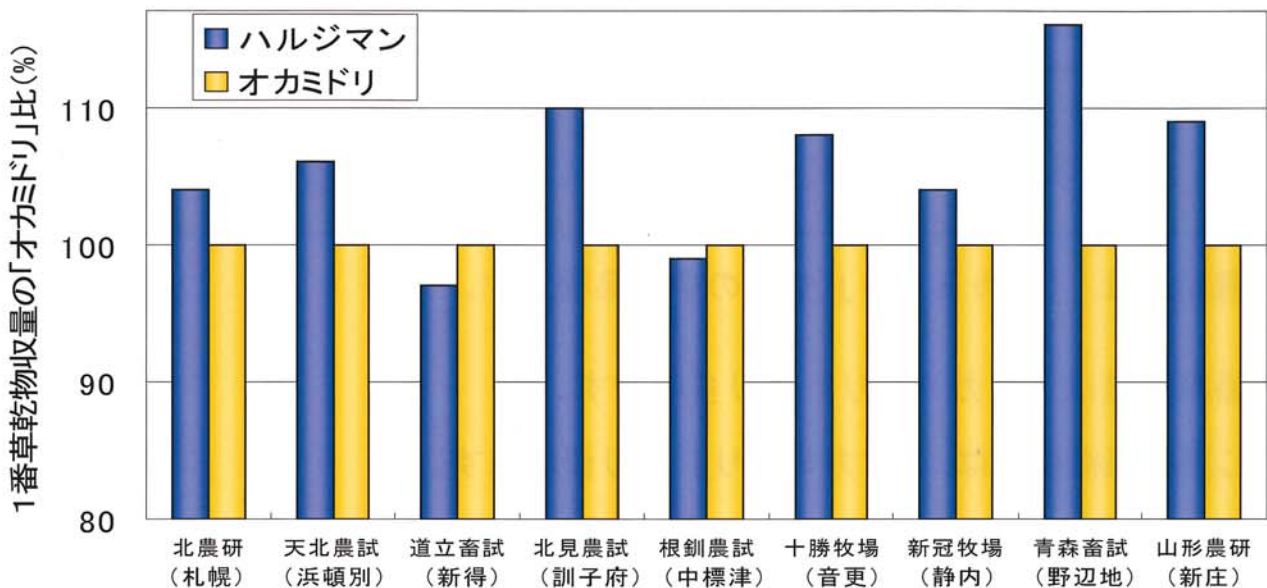


図1. 「ハルジマン」の1番草乾物収量の「オカミドリ」比(%) (3か年の平均)

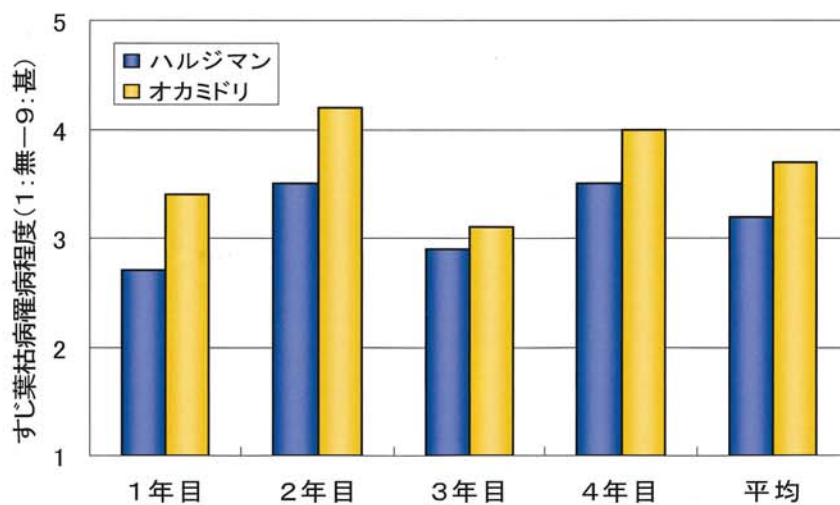


図2. 「ハルジマン」のすじ葉枯病罹病程度

【育成機関】 お問い合わせ先：

(独) 北海道農業研究センター 酪農研究領域

飼料作物グループ TEL 011-857-9273